保険外における理学療法士の新しい働き方紹介

脳梗塞リハビリセンターにおける働き方

confidential

©2020 Y's Inc.

話者紹介：福田俊樹

理学療法士

株式会社ワイズ脳梗塞リハビリセンター事業部 研修センター長

2006年3月 名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻 卒業

2006年4月 初台リハビリテーション病院 入職

2016年3月 初台リハビリテーション病院 退職

2016年4月 (株)ワイズ 脳梗塞リハビリセンター 入職

confidential

©2020 Y's Inc.

目次

1. 保険外リハビリとは

2. 脳梗塞リハビリセンターの紹介

3. 理学療法士の働き方

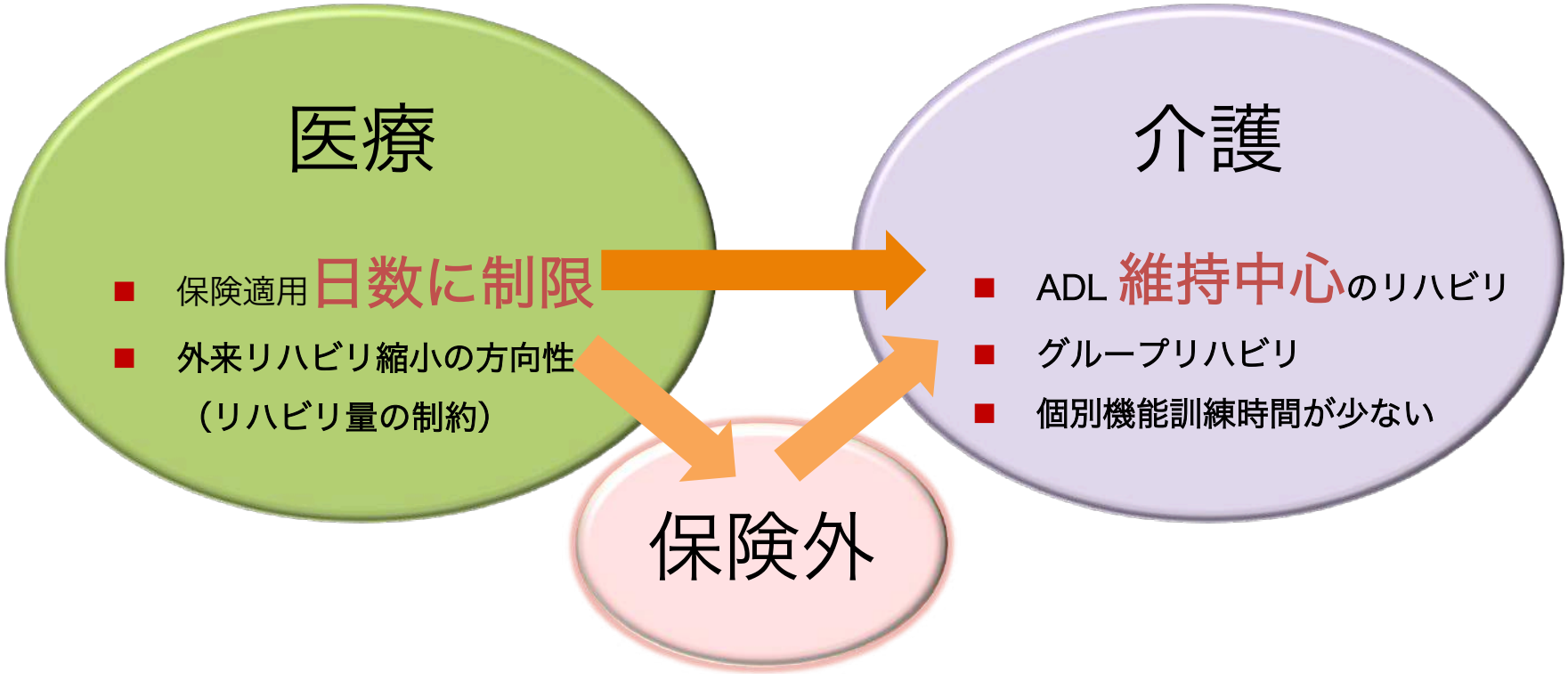
4. 理学療法士に今後求められること

©2020 Y's Inc.

1. 保険外リハビリとは

©2020 Y's Inc.

保険外リハビリとは



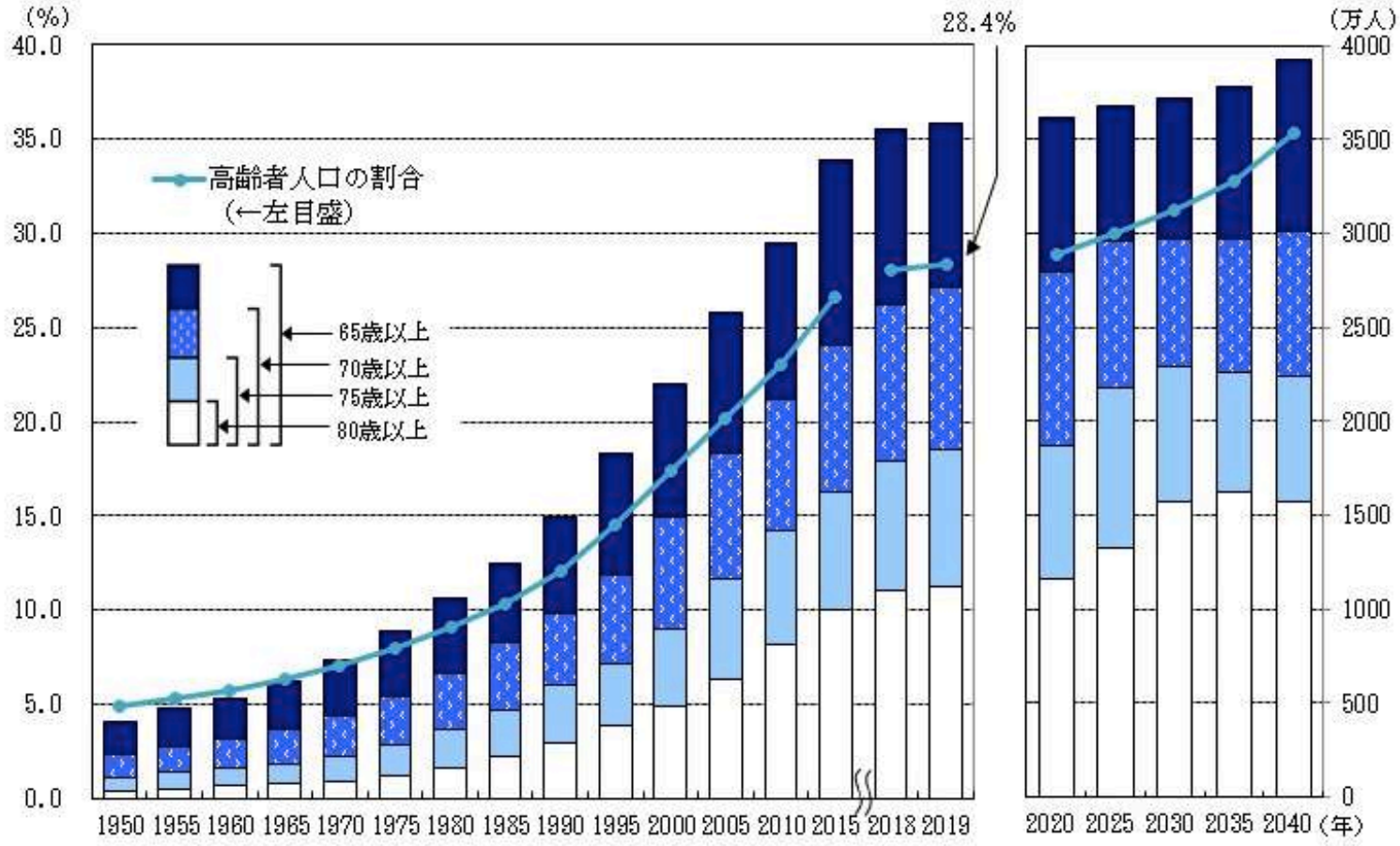
☞社会保障制度下では対応が難しい「隙間」を埋める存在

©2020 Y's Inc.

高齢者の推移

年々増加し、2040年には人口の35.5%になるといわれています

図1　高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



参照　総務省統計局webサイトより　https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1211.html

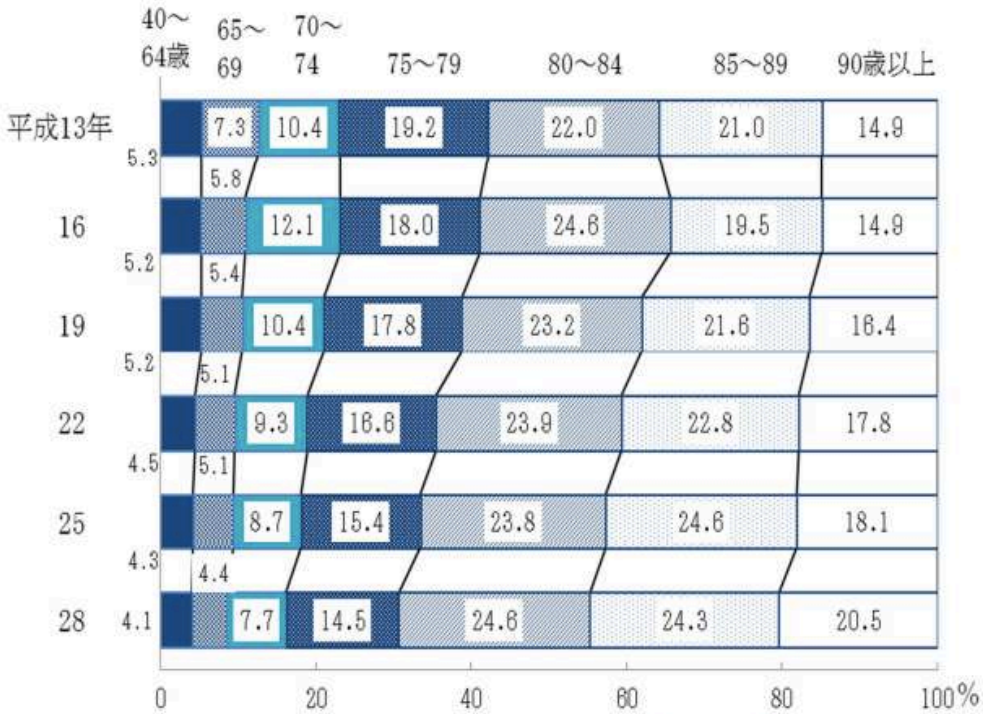
confidential

©2020 Y's Inc.

年齢と介護度の関係性

年度とともに高齢者が要介護者を占める割合が増加している

図 33　要介護者等の年齢階級別構成割合の年次推移



注：平成 28 年の数値は、熊本県を除いたものである。

参照　厚生労働省　平成28年国民生活基礎調査の概況

confidential

©2020 Y's Inc.

介護度と脳卒中の関係性

要介護者になる原因として認知症の次に脳卒中が挙げられる

表 20　要介護度別にみた介護が必要となった主な原因（上位３位）

（単位：%）　　平成28年

要介護度	第１位		第２位		第３位	
総　　数	認知症	18.0	脳血管疾患（脳卒中）	16.6	高齢による衰弱	13.3
要支援者	関節疾患	17.2	高齢による衰弱	16.2	骨折・転倒	15.2
要支援１	関節疾患	20.0	高齢による衰弱	18.4	脳血管疾患（脳卒中）	11.5
要支援２	骨折・転倒	18.4	関節疾患	14.7	脳血管疾患（脳卒中）	14.6
要介護者	認知症	24.8	脳血管疾患（脳卒中）	18.4	高齢による衰弱	12.1
要介護１	認知症	24.8	高齢による衰弱	13.6	脳血管疾患（脳卒中）	11.9
要介護２	認知症	22.8	脳血管疾患（脳卒中）	17.9	高齢による衰弱	13.3
要介護３	認知症	30.3	脳血管疾患（脳卒中）	19.8	高齢による衰弱	12.8
要介護４	認知症	25.4	脳血管疾患（脳卒中）	23.1	骨折・転倒	12.0
要介護５	脳血管疾患（脳卒中）	30.8	認知症	20.4	骨折・転倒	10.2

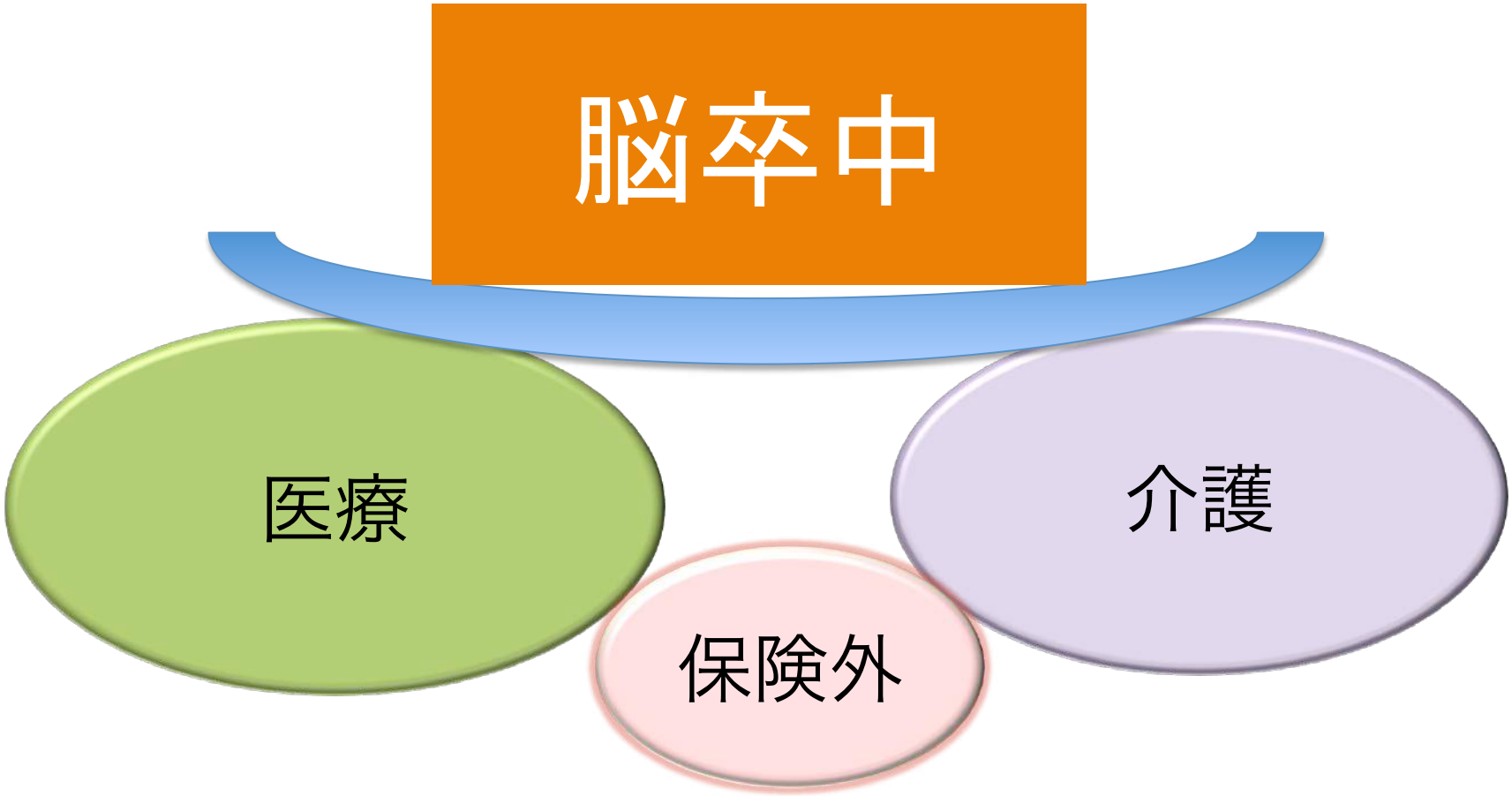
注：熊本県を除いたものである。

参照　厚生労働省　平成28年国民生活基礎調査の概況

confidential

©2020 Y's Inc.

脳卒中リハビリの必要性



confidential

©2020 Y's Inc.

2. 脳梗塞リハビリセンターの紹介

©2020 Y's Inc.

会社概要

会社名	株式会社　ワイズ
設立日	2014年2月4日
資本金	1,000万
本社所在地	東京都港区赤坂2-12-10　HF溜池ビルディング 1階
代表者	代表取締役会長　早見 泰弘
役員・顧問	取締役社長　伊藤　康祐 取締役　野中　亮宏 取締役　西久保　亜希 監査役　和泉澤　雄 執行役員　國浦　政人 執行役員　唐沢　彰太 執行役員　金田　祐輔

事業内容	保険外サービス 『脳梗塞リハビリセンター』運営 介護保険デイサービス 『アルクル』 運営 鍼灸整骨院運営
従業員数	205名
主要株主	エムスリー株式会社 役員
施設数	24施設
加盟団体	公益社団法人　日本脳卒中協会 一般社団法人　日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 ＮＰＯ法人　日本脳卒中者友の会 一般社団法人　日本デイサービス協会

confidential

©2020 Y's Inc.

エムスリー社　会社概要

M3, Inc.

エムスリーは3つのM、

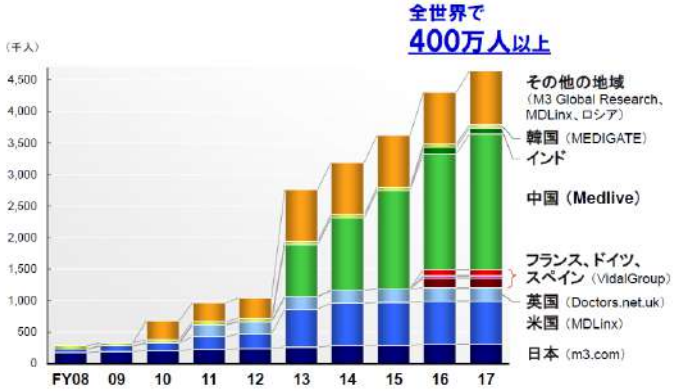
Medicine ー 医療
Media ー メディア
Metamorphosis ー 変革

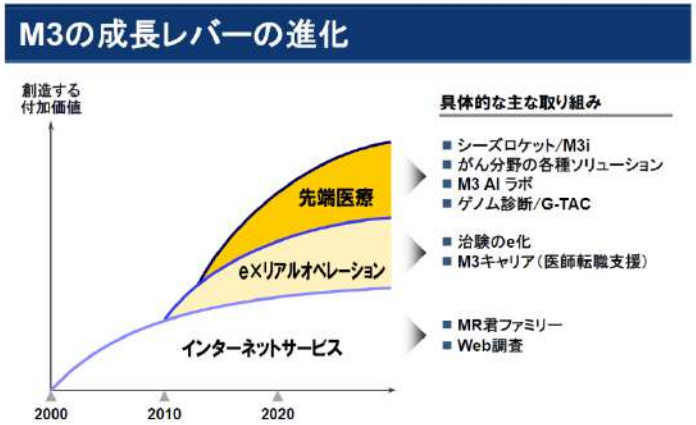
インターネットというメディアを活用し、医療の世界を変革します。

社名	エムスリー株式会社
英文表記	M3, Inc.
設立	2000年9月
資本金	16億5400万円
連結売上 ※直近年度	1130億円
連結営業利益 ※直近年度	309億円
時価総額　※5/1時点	2兆6,263億円
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
連結従業員数	5,165名（2018年3月末現在）
筆頭株主	ソニー株式会社（34%）

【事業内容】

全世界で約400万人、国内約25万人の圧倒的な医師会員を保有するメディカルプラットフォーム（医療従事者向けサイト）を活用した事業を展開

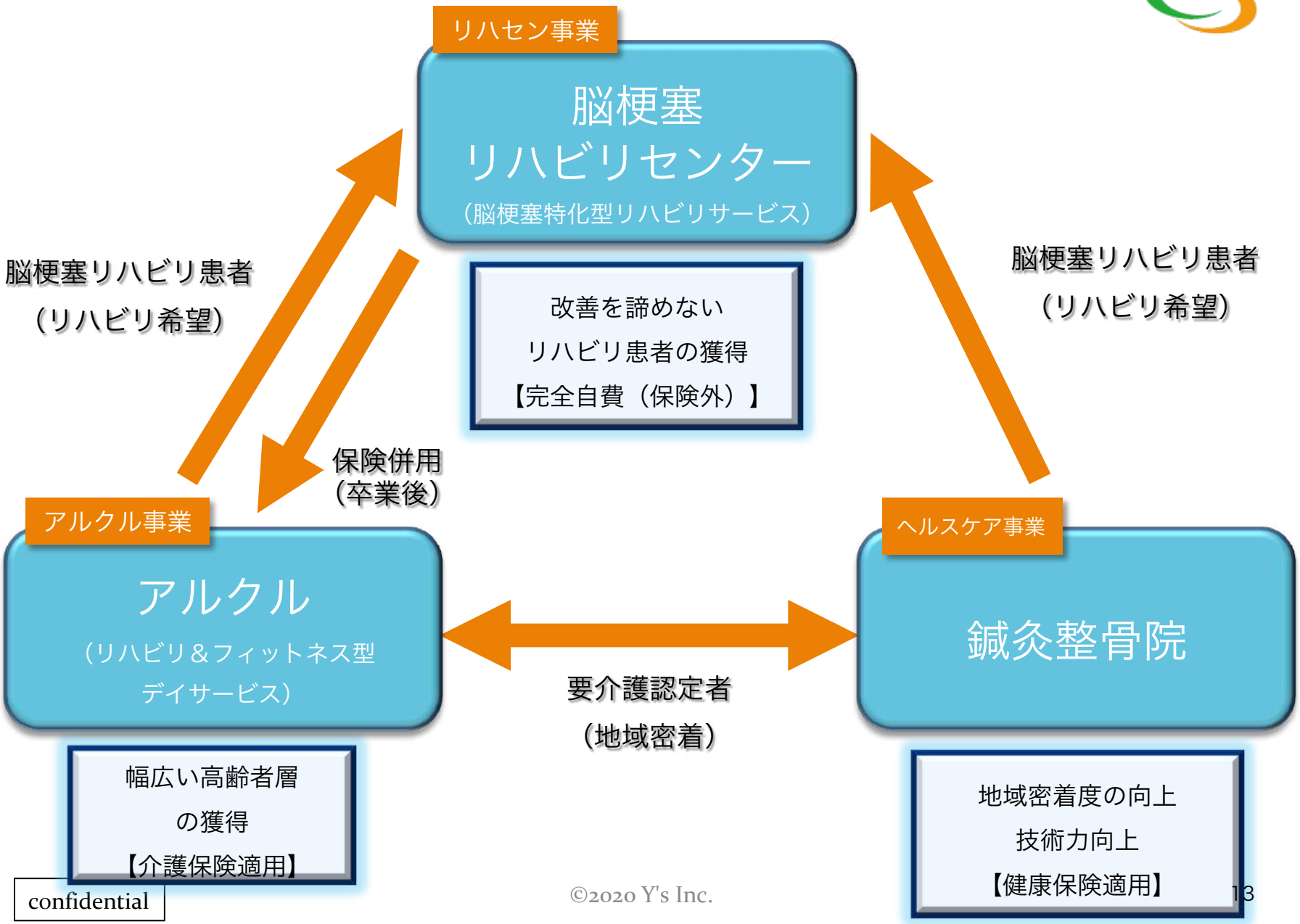




confidential

©2020 Y's Inc.

事業内容



confidential

©2020 Y's Inc.

脳梗塞リハビリセンター

『日本初　脳梗塞後遺症特化型 完全マンツーマン 保険外リハビリ施設』

～ADL改善だけではない、リハビリの新たな選択肢の一つとして～

2014年9月より開始

©2020 Y's Inc.

脳梗塞リハビリセンター設立経緯

デイサービスを運営中、脳梗塞患者が多く、リハビリニーズが高かった
（パソコンが打てるようになりたい・旅行に行きたい・料理を作りたい・・・）

↓

脳梗塞後遺症の方向けにデイサービス内でのメニュー開発
を検討するが運用上難しかった

↓

調査にて退院後の脳梗塞リハビリニーズが高かった
（自費でもやりたい）

↓

脳梗塞リハビリに特化した保険外サービスを提供している競合がなかった

↓

脳梗塞リハビリニーズが高く、競合がいないことから
脳梗塞後遺症特化型の保険外リハビリ施設を設立することを決意・準備
（開設に向けて各関係機関にも確認）

confidential

©2020 Y's Inc.

2014年9月より

日本初　脳梗塞後遺症特化型

保険外による完全マンツーマン

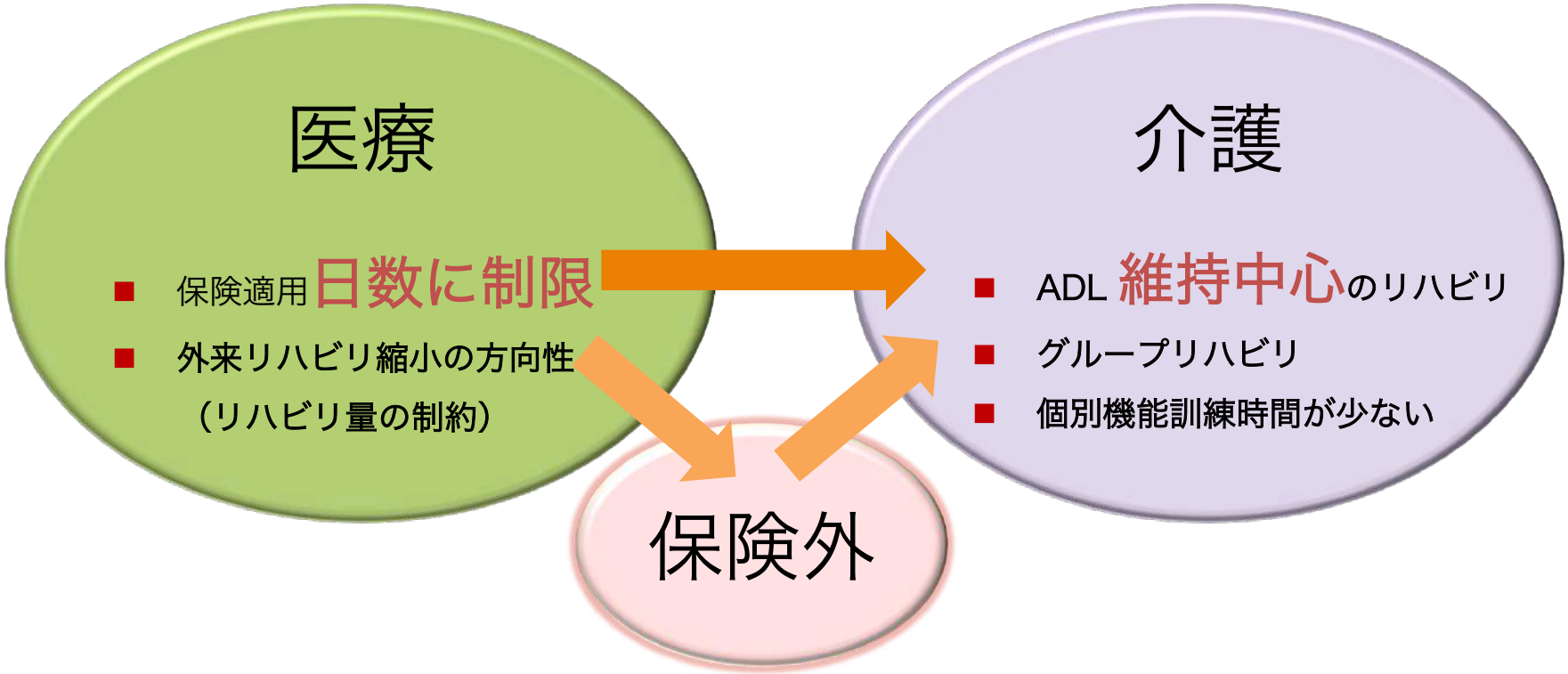
リハビリサービス事業を開始

脳梗塞リハビリセンター

confidential

©2020 Y's Inc.

保険外リハビリとは



☞社会保障制度下では対応が難しい「隙間」を埋める存在

©2020 Y's Inc.

脳梗塞リハビリセンター 施設一覧

脳梗塞リハビリセンター新宿
東京都/新宿区

東京都新宿区新宿2-6-5
山本ビル 4階

脳梗塞リハビリセンター池袋
東京都/豊島区

東京都豊島区西池袋3-26-5
ニューマツモトビル 6階

脳梗塞リハビリセンター赤坂
東京都/港区

東京都港区赤坂2-12-10
HF溜池ビルディング 1階

脳梗塞リハビリセンター田町・三田
東京都/港区

東京都港区東京都港区芝5-20-11
朝倉ビル 2階

脳梗塞リハビリセンター用賀
東京都/世田谷区

東京都世田谷区用賀4-5-20
アドバンス高荒 1階

脳梗塞リハビリセンター立川
東京都/立川市

東京都立川市柴崎町3-5-27
YMビル 4階

脳梗塞リハビリセンター阿佐ケ谷
東京都/杉並区

東京都杉並区阿佐谷南1-16-8
ISM ASAGAYA 9階

脳梗塞リハビリセンター川崎
神奈川県/川崎市

神奈川県川崎市幸区大宮町14-4
中野ビル 1階

脳梗塞リハビリセンター大宮
埼玉県/さいたま市

埼玉県さいたま市大宮区大門町3-71
太田ビル 4階

脳梗塞リハビリセンター西船橋
千葉県/船橋市

千葉県船橋市西船4-21-1
5階

脳梗塞リハビリセンター新潟
新潟県/新潟市

新潟県新潟市中央区花園1-1-1
新潟駅ビルCOCOLO 1階南口側

脳梗塞リハビリセンター熊本
熊本市

熊本県熊本市中央区大江4-2-1
イオン熊本中央店2階

脳梗塞リハビリセンター大阪
大阪府/大阪市北区

大阪府大阪市北区中之島5-3-68　リーガロイヤルホテルタワーウィング7F
Y's Healthcare Lab内　脳梗塞リハビリセンター

脳梗塞リハビリセンター横浜
神奈川県/横浜市

神奈川県横浜市西区南幸2-6-2
i building 3階

脳梗塞リハビリセンター町田
東京都/町田市

東京都町田市森野1-33-11
町田森野ビル202

脳梗塞リハビリセンター神戸
兵庫県/神戸市中央区

兵庫県神戸市中央区三宮町2-11-1
センタープラザ西館7F

脳梗塞リハビリセンター福岡
福岡市

福岡県福岡市西区豊浜3丁目1-10
イオンマリナタウン店　2階

脳梗塞リハビリセンター北九州
北九州市

福岡県北九州市八幡西区西曲里町3-1
イオンタウン黒崎2F

脳梗塞リハビリセンター鹿児島
鹿児島市

鹿児島県鹿児島市鴨池2丁目26-30
イオン鹿児島鴨池店　2階

脳梗塞リハビリセンター名古屋
愛知県/名古屋市

愛知県名古屋市中区錦3-23-18
ニューサカエビル8階

confidential

©2020 Y's Inc.

メディア実績

TV

- NHK 『ひるまえほっと』

- NHK 『ニュースチェック

- NHK大阪 『ニュースほっと関

- テレビ朝日 『たけしの家庭の医学』

- テレビ東京 『ワールドビジネスサテライト』

- テレビ東京 『ゆうがたサテライト』

新聞

- 日経産業新聞 『ソーシャルベンチャー』
- 日経産業新聞 『日本直販との業務提携』
- 高齢者住宅新聞 『脳血管疾患特化型リハ』

Web

- メドレー 『さらに意欲的なリハビリを可能にする保険外リハビリとは』
- QLife Pro 『"自費リハビリ"という選択肢』
- ハフィントンポスト 『脳梗塞後遺症で悩んでいる方の新たな選択肢の一つとして
- フジサンケイビジネスアイ 『脳梗塞・認知症のリハビリ標準』
- 介護ワーク 『日本初の脳血管疾患特化型リハビリ施設で業界に切り込む』
- ケアマネドットコム 『自費型リハビリサービスが担う役割』
- 医療ガバナンス学会 『『リハビリする場所がない』に答える施設に』
- JR PRESS 『題の自成長戦略』

- 日経デジタルヘルス年鑑2017

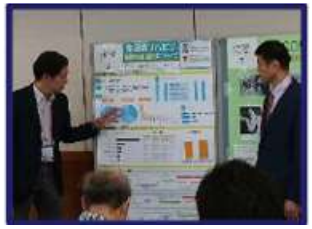
雑誌

confidential

©2020 Y's Inc.

発表実績

- 「日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会」
  ※東京医科歯科大学にて開催
  ※発表演題：「生活期リハビリ継続の原動力とは」



- 「日本スポーツ産業学会」
  ※立教大学にて開催
  ※発表演題：「スポーツを志す脳梗塞後遺症者に対してのサポートプログラムの検討」

日本スポーツ産業学会
JAPAN SOCIETY OF SPORTS INDUSTRY

- 「フランス大使館主催ベンチャー概観」

- 「Morning Pitch」

- 「Digital Health Meetup」
  ※六本木ヒルズにて開催

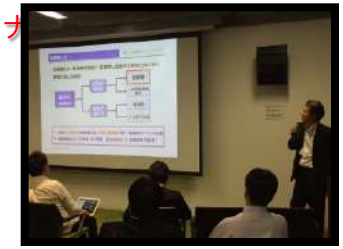
confidential

- 「介護サービス研究会総会」

- 「リハビリ・介護産

- 「保険外サービス

- 「シニアビジネス研究セミナ



- 「高齢者生活支援サービス展」
  ※東京ビッグサイトにて開催

- 「現場からの医療改革推進協議会」
  ※東大学医科研にて開催

©2020 Y's Inc.

主な発表実績

・内閣官房 未来投資会議「健康・医療・介護」

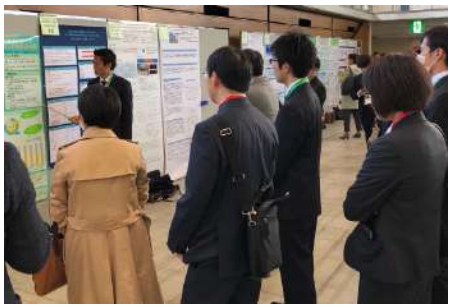
「保険外サービス先進事例

脳梗塞リハビリセンターの紹介」

・日本脳卒中学会

「生活期にある脳卒中患者に対する、

鍼灸とリハビリテーションの効果の検証」



・日本線維筋痛症学会

「線維筋痛症患者に対する運動の適応と

リハビリテーション

～どのように運動 を選択すればよいのか～ 」

confidential

©2020 Y's Inc.

職能団体での講演や大学での講義など

・日本理学療法士協会　講演
「平成29年度 起業支援・促進セミナー」

・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会
・日本言語聴覚士協会　講演
「平成30年度 在宅リハビリテーション従事者研修会」

・新潟医療福祉大学　講義
「200人超の3・4年生向けに講義」

脳梗塞に自費リハビリ

新潟日報にも掲載

・日本理学療法士協会
半田会長が来訪

・小川克巳議員（参議院議員:理学療法士）
・山口和之議員（前参議院議員:理学療法士）が来訪

confidential

©2020 Y's Inc.

経営理念

「リハビリに第３の選択肢を」

リハビリ分野に革新をもたらすべく新たなリハビリサービスを創造し、

社会復帰やQOL向上に最大限貢献することにより、豊かな社会を創ること

【補足】

社会問題を解決するソーシャルベンチャーとしての位置づけ

第3の選択肢とは：健康保険でも介護保険でもない新しいリハビリサービス

confidential

©2020 Y's Inc.

3. 理学療法士の働き方

©2020 Y's Inc.

脳梗塞リハビリセンターでの働き方

店舗運営・臨床

① 施設長
② 店舗スタッフ

スタッフ教育

③ 研修センター

④ 各種プロジェクト

病院・企業案件

confidential

©2020 Y's Inc.

店舗スタッフ

- 店舗に配属となり利用者さんの施術を行う（最大７人/１日）
- 鍼灸、リハビリ、運動トレーニングで２時間半のサービス
- 施術以外にも電話対応やお会計、スケジュールの管理など事務的な業務もあり

confidential

©2020 Y's Inc.

サービス１回の流れ

鍼灸
（60分）

→

リハビリ
（60分）

→

トレーニング
（30分）

- 鍼灸は、全身状態の調整が主目的に行われる
- リハビリ（理学療法士、作業療法士）は、利用者さんのNEEDSに合わせてQOLの向上を目的に行われる
- トレーニングは、利用者に必要な運動や動作練習また情報の提供を行う

©2020 Y's Inc.

サービス全体の流れ

STEP 1
特別プログラム体験のご予約

STEP 2
カウンセリング+特別プログラム体験

STEP 3
リハビリ計画ご提案

STEP 4
リハビリプログラム開始

STEP 5
適時カウンセリング今後の見通しについてご相談

メインサービス（６０日プラン）

施設リハビリ
週2回以上の頻度

自宅リハビリ
毎日（体力や状態に応じて頻度を管理）

初回
リハビリ体験と評価・カウンセリング
60日後の改善目標のご説明

自宅課題

中間カウンセリング
改善状況の振り返り
リハビリ方針のご説明

自宅課題

60日後カウンセリング
改善・目標達成状況の振り返りと
今後の改善可能性のご説明

リハビリ計画『1・2・3ステップシート』進捗管理

ご家族向け介助指導・相談

confidential

©2020 Y's Inc.

セラピストに求められること

- 生活期の為、比較的リハビリの目標が明確
- 一人一人の目標に合わせたプログラムの立案が必要
- １回ごとの介入の重み（その日の効果を説明し、日常での注意点と自主トレーニングを必ず指導する）

その際に以下のことが重要になる

1. 目標達成に必要な期間と利用頻度
2. 現在の問題点と解決している点の提示と共有
3. 鍼灸、トレーナーを含めた一貫したサービスの提供
4. どの様な訓練と練習が必要なのかの理解と共有

©2020 Y's Inc.

よくある質問1

Q：「お客さんは自分で集めなきゃいけないの？」

A：本社で専門の部門があり、集客はその部門が中心となっています。

店舗の混み具合によっては近隣の病院や居宅介護支援事業所などにご挨拶などを行うこともあります。

©2020 Y's Inc.

よくある質問2

Q：「会社だから売上のノルマはあるの？」

A：店舗毎に目標の数値はありますが、それを達成しない場合の処罰などは一切ありません。
セラピストとして目の前の利用者さんの為に何ができるかのみに集中して取り組める環境となっています。

©2020 Y's Inc.

よくある質問３

Q：「腕が良ければいいの？」
「腕が良くないとできないの？」

A：新卒で入ってこられた方から、１０年目以上の方まで幅広くおります。特別な事ができる必要は無く、自身の介入でご希望に合わせてどのくらいでどの程度改善するかの予測と利用者さんに対してその説明・共有ができる事が必要です。

また施術の時間以外も含めたサービス力も重要となってきます。

©2020 Y's Inc.

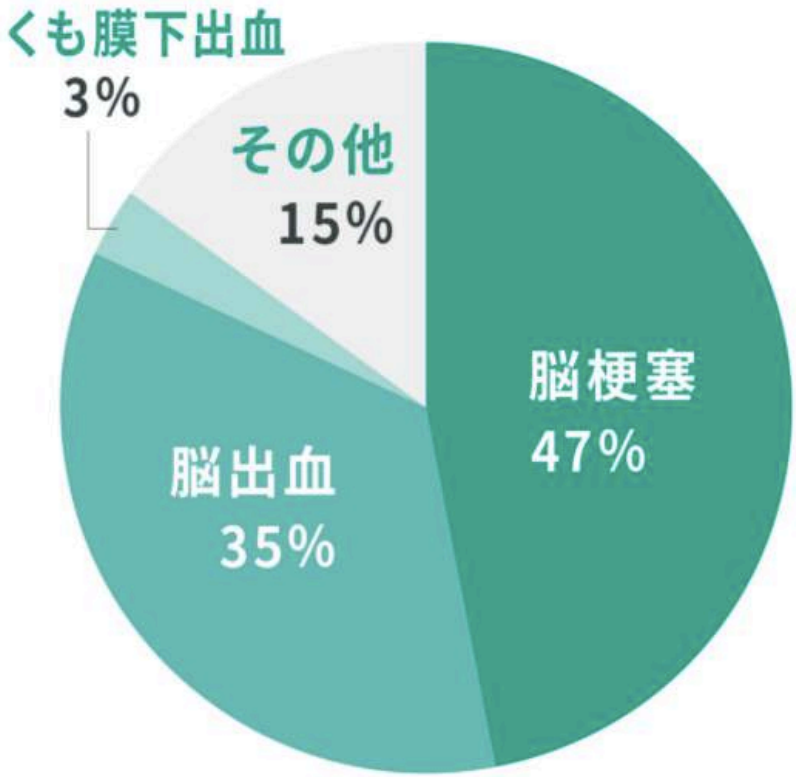
リハビリセンターで感じた回復期病院との違い

- 期限が無い
- 症例が絞られる（ほぼ中枢神経疾患）
- 作成書類が少ない（ご説明用のシートのみ）
- 臨床数は多く無い（１日最大７件）
- 一回あたりの施術時間は長い（１時間）
- モチベーションが高い
- より幅広い目標がある

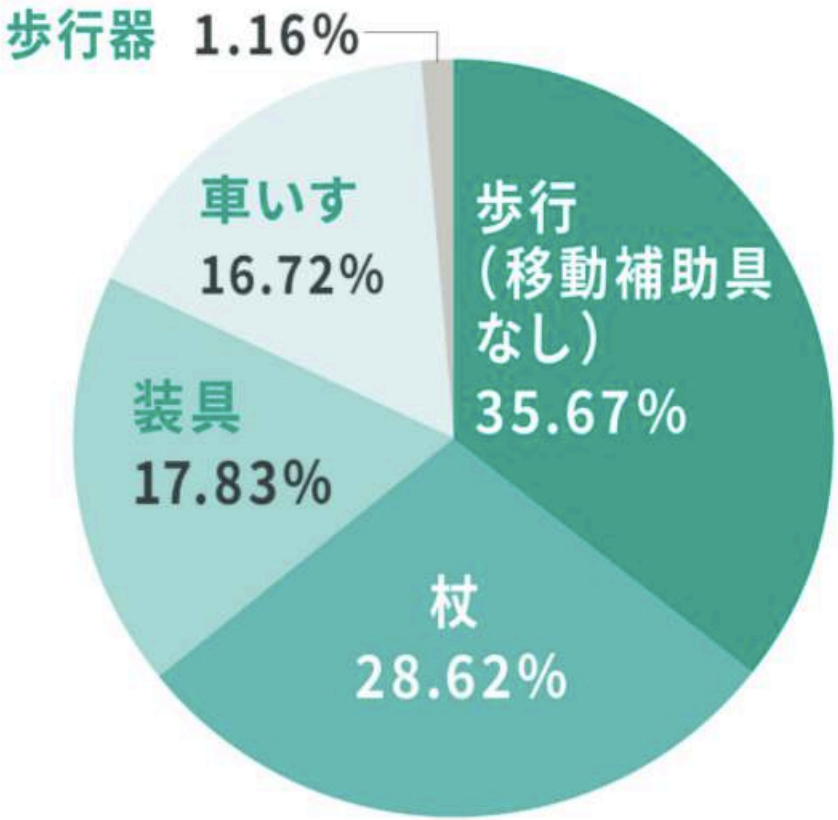
©2020 Y's Inc.

利用者さんの属性

疾患名



移動形式



confidential

©2020 Y's Inc.

弊社に来店された方のご希望

- 日常生活動作の自立
- 介護負担の軽減
- 復職（PC操作、書類を持って移動する、仕事上でのコミュニケーション）
- 趣味（カメラ、楽器、車の運転、犬の散歩）
- 上肢機能向上
- 痺れ、痛み
- 目眩、ふらつき

©2020 Y's Inc.

働いてみて難しかったところ

1. サービス業と医療のはざま

- ３０万のサービスを売る経験の乏しさ
- 医療職としてのアイデンティティ

2. 普段介入をしたことが無い目標

- フルートの演奏など巧緻性の高い動作
- ランニングなどハイパフォーマンスな動作

3. 目標の設定と期間

- 長期的な介入での変化の予測と最適な頻度

confidential

©2020 Y's Inc.

働いてみてよかったところ

1. 利用者さんに最後まで寄り添える

ご希望に合わせて自由に期間を設定して寄り添える、セラピストの根源に近い事ができる。その分の責任はある。

2. 新しい分野（鍼灸、トレーナー）を学べる

不眠、頻尿などベースを整える東洋医学、支持基底面では無く重心の高さを重要視するハイパフォーマンスな運動のトレーニングなどを学ぶ事ができた。

©2020 Y's Inc.

こんな人に向いているかも

- 利用者さんの希望に最後まで寄り添いたい
- 脳卒中のリハビリに興味がある
- 臨床に集中して入りたい

©2020 Y's Inc.

施設長

- 店舗運営の責任者
- 運営のためビジネス的な視点が必要となる
- プレイングマネージャー

→マネジメントをしながら臨床業務も行う

©2020 Y's Inc.

マネジメント

- 管理、調整
- 人と物と金のマネジメント
- 予約コントロール、スタッフのシフトコントロール

©2020 Y's Inc.

Profit and Loss Statement（P/L）

損益計算書

（自 平成__年__月__日 至 平成__年__月__日）

（単位：円）

科目	金額	
売上高		100,000,000
売上原価		50,000,000
売上総利益		50,000,000
販売費及び一般管理費		3,000,000
営業利益		47,000,000
営業外収益		
受取利息	650,000	
受取配当金	470,000	
為替差益	100,000	
その他	0	1,220,000
営業外費用		
支払利息	845,000	
たな卸資産評価損	365,000	
為替差損	35,100	
その他	10,000	1,255,100
経常利益		46,964,900
特別利益		
固定資産売却益	1,000,000	
前期損益修正益	20,000	
賞与引当金戻入額	3,000	
製品保証引当金戻入額	0	
その他	0	1,023,000

- 損益計算書
- 一定の期間でどれくらいの利益、損失が出たかを表す

特別損失		
前期損益修正損	10,000	
固定資産除売却損	500,000	
貸倒引当金繰入額	0	
その他	0	510,000
税引前当期純利益		47,477,900
法人税、住民税及び事業税	20,000,000	
法人税等調整額	△10,525,000	9,475,000
当期純利益		38,002,900

confidential

©2020 Y's Inc.

Balance Sheet(B/S)

- 貸借対照表
- 資本の調達先と運用形態を表す

貸 借 対 照 表

（平成__年__月__日 現在）

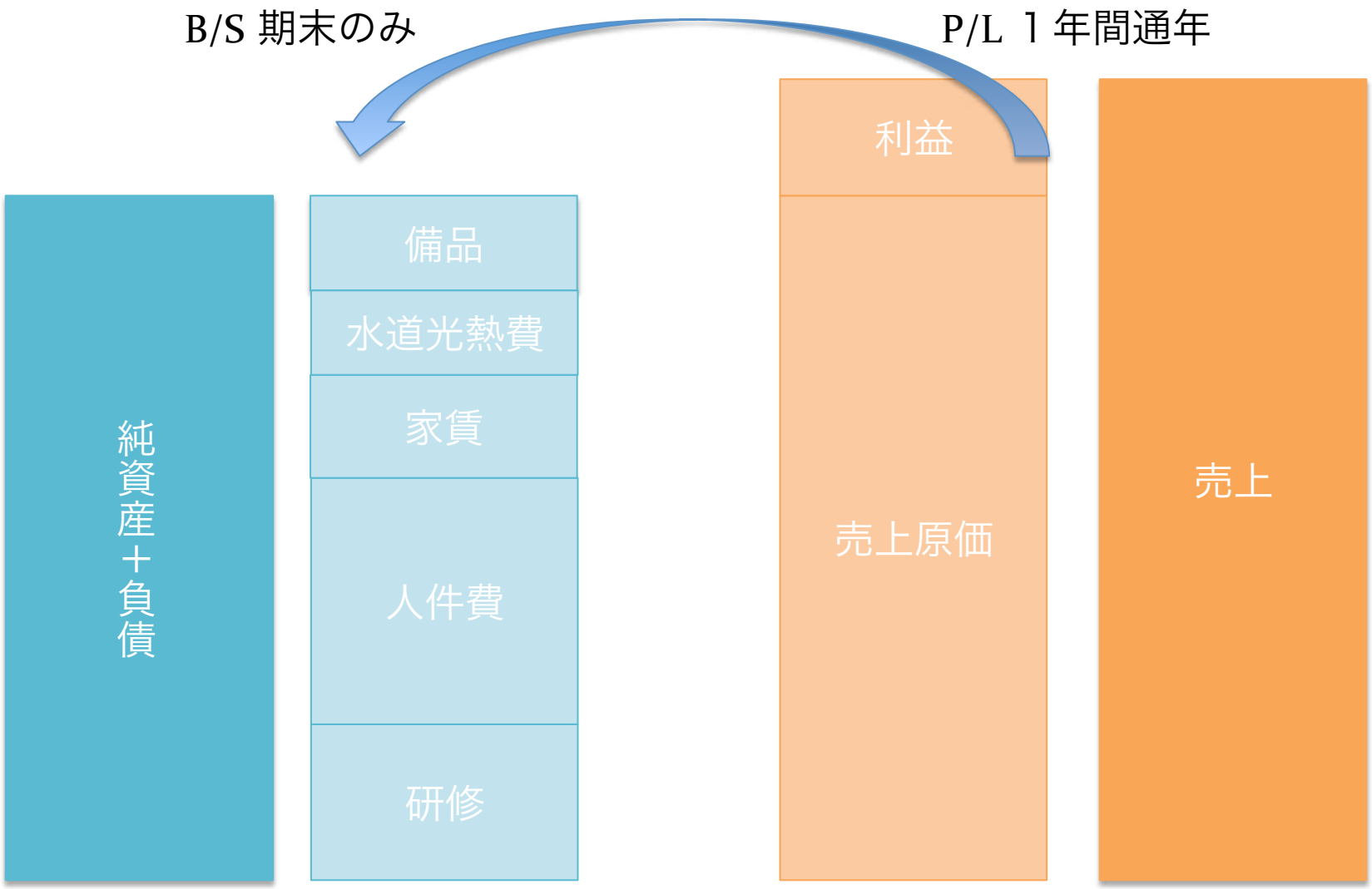
（単位：円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）	円	（負債の部）	円
流動資産	0	**流動負債**	0
現金及び預金	0	買掛金	0
受取手形	0	短期借入金	0
売掛金	0	未払金	0
商品	0	未払費用	0
部品	0	未払法人税等	0
前払費用	0	預り金	0
繰延税金資産	0	賞与引当金	0
短期貸付金	0	製品保証引当金	0
未収入金	0	その他	0
その他	0		
貸倒引当金	0	**固定負債**	0
		退職給付引当金	0
固定資産	0	繰延税金負債	0
有形固定資産	0	その他	0
建物	0		
構築物	0	**負債合計**	0
機械及び装置	0		
車両及び運搬具	0	（純資産の部）	
工具、器具及び備品	0		
土地	0	**株主資本**	0
建設仮勘定	0	**資本金**	0
		資本剰余金	0
無形固定資産	0	資本準備金	0
施設利用権	0	その他資本剰余金	0
ソフトウェア	0		
その他	0	**利益剰余金**	0
		その他利益剰余金	0
投資その他の資産	0	繰越利益剰余金	0
投資有価証券	0		
関係会社株式	0	**自己株式**	0
関係会社出資金	0		
長期貸付金	0	**評価・換算差額等**	0
長期前払費用	0	**その他有価証券評価差額金**	0
その他	0		
貸倒引当金	0	**純資産合計**	0
資産合計	0	**負債・純資産合計**	0

confidential

©2020 Y's Inc.

P/LとB/S



confidential

©2020 Y's Inc.

KGIとKPI

- Key Performance Indicator（重要業績評価指標）
- Key Goal Indicator（重要目標達成指標）

- 店舗売上の目標達成をするには店舗に毎月どのくらい新規の方が来て、どの程度本コースを購入されて、どのくらいの期間続けていただく必要があるのか
- どのKPIにフォーカスして取り組むべきか、いずれのKPIも現実的に達成が難しい場合、どのような施策を立てるのか

「難しい」では無くどうやったら出来るかを常に考える

©2020 Y's Inc.

働いてみて難しかったところ

1. お金のマネジメント

- P/L、B/Sなど今までやった事がない数字の取り扱い
- 利益とスタッフの働きやすさの両立

2. 人のマネジメント

- スタッフの特性を活かした仕事の分配
- 権利と義務及び専門職種としての教育

3. 臨床数の減少

- マネジメントと臨床家としての相反性

©2020 Y's Inc.

働いてみてよかったところ

1. 自分のやりたい様に進める事ができる

会社の理念に沿いながら、自分の理想像とする空間やサービスを作り上げる事が可能。

2. 視野の広がり

目の前の利用者さんに対して、直接関わるリハビリ以外でもその他の事柄も改善に繋がる重要な要素である事が分かった。

©2020 Y's Inc.

よくある質問1

Q：「数字の読み取り方とか全くわからないけどできる様になるの？」

A：施設長になる前にマネジメントやお金の管理に関しての研修があり、十分に業務遂行が可能になるまで入念なサポート体制が整っています。

©2020 Y's Inc.

よくある質問2

Q：「マネジメントもやりたいが、臨床もしっかりやりたい、できるの？」

A：マネジメント中心に据える、臨床を中心に据える、両者バランス良く行う、どの形でも働くことは可能です。施設長として店舗スタッフにどの様に業務を分担していくかを調整することで対応できます。

©2020 Y's Inc.

こんな人に向いているかも

- 店舗運営を学びたい
- リハビリを行う上で環境にも目を向けたい
- 利用者さんのみならず周りのスタッフにも幸せになってもらいたい

©2020 Y's Inc.

研修スタッフ

- 研修を行う専門のスタッフ
- 保険外のリハビリを実施する上で入社したスタッフに対して最低１ヶ月、最大9ヶ月以上の研修を実施
- スタッフのみならず他の病院や会社に対して実施

©2020 Y's Inc.

新人研修

✓ 9ヶ月の徹底研修にて独り立ちをサポート

業務研修1ヶ月、技術研修9か月という手厚い研修期間にて、自費リハビリに必要なサービス面のスキルと、施術におけるスキルの研修を弊社独自の研修にて習得出来るまで徹底的にサポートします。

✓ 研修用のセンターを完備

営業店舗とは別に研修センターを設立し、日常業務に追われることが無く、研修に集中して取り組める環境を整備しています。

✓ 研修に協力してくださる利用者様の存在

当社の活動に賛同してくださる利用者様が研修に協力をして下さいます。実際にお身体をお借りして、研修の為に介入をすることが可能ですので、より効果的に研修を進めることができます。

✓ リハセン独自の体験型の教育システム

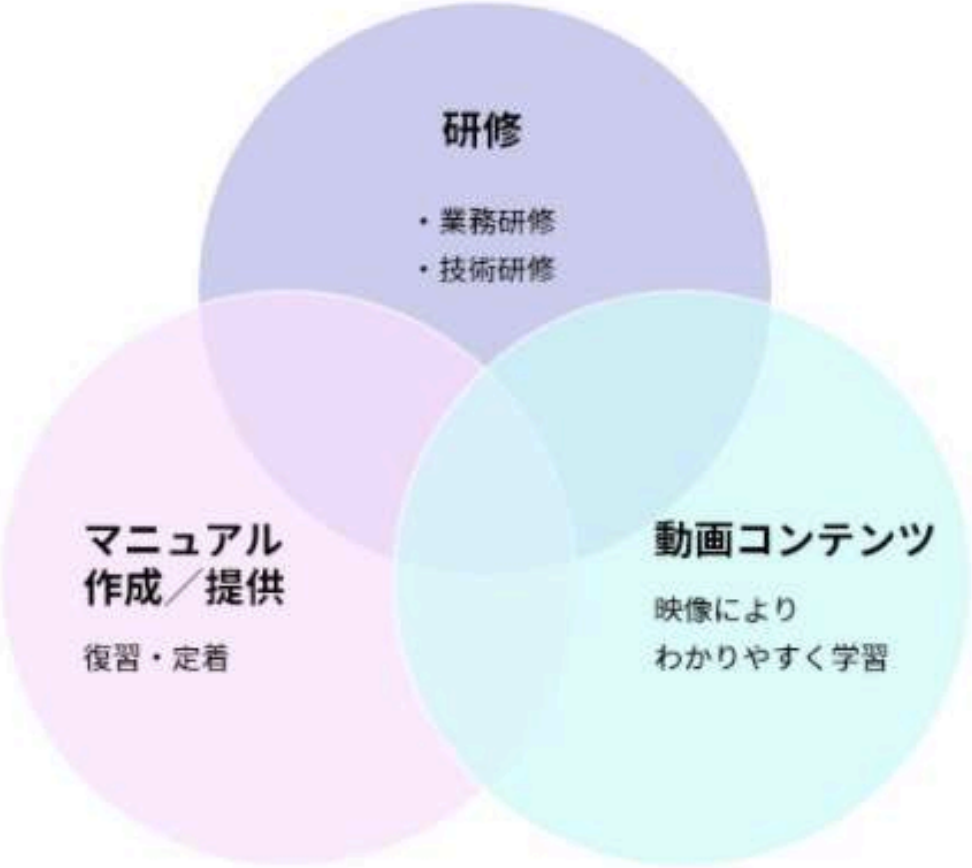
利用者様から直接学ぶことを主軸に置き、座学・技術研修はその補足とした位置付けです。詰め込み型の学習では無く、実体験→言語化の流れで自然な技術の習得を行います。

座学・技術研修で学べる事だけではなく、利用者様に実際に触れる事から学べることが多くあります。リハセンではその両方を充実したプログラムで学ぶことが出来ます。

©2020 Y's Inc.

企業、病院向け研修

回復期病院及び『脳梗塞リハビリセンター』での臨床経験10年以上の講師による業務研修・技術研修を受託運営いたします。オンライン・オフラインいずれの対応も可能です。当社研修カリキュラムは医療機関からも高く評価されており、大手病院への研修実績もございます。



confidential

©2020 Y's Inc.

企業、病院向け研修

研修内容			
	① 業務研修	社会人としての基礎知識やマナーの向上やサービスマインドの向上など目的とした研修	● コンプライアンス（社会人のマナー、モラル、義務と権利、ハラスメント） ● 報連相の重要性 ● 課題解決手法（ロジカルシンキングとPDCAサイクル） ● お金の話（病院の経営、給与） ● 接遇概論（行う意味、どの様な接遇が良いか） ● コミュニケーション（傾聴、共有、提案） ● トラブル・クレーム対応 ● 人材育成（部下の目標設定、キャリアアップ） ● 保険制度（現在の医療、介護の制度、患者数の推移） etc
	② 技術研修	医療従事者としての基礎知識や各種技術、予後予測に必要な動作観察などの習得を目的とした研修	● 介助、観察に必要な解剖学・運動学の知識 ● 介助、観察に必要な触診、関節可動域練習の実技 ● ケア～リハビリに入るための介助方法 ● アプローチの立案に役立つ動作観察法 ● 動作分析のための脳機能の知識 ● 動作分析と臨床での検証方法 ● アプローチと運動学習 ● 予後予測と1ヶ月の介入プランの立て方

confidential

©2020 Y's Inc.

働いてみて難しかったところ

1. 質の担保

全国どの店舗でも一定の質を保ったサービス提供が必要であり、質の均一化ならびに研修方法に苦労をした。

2. 進み具合の違いによっての個別対応

新人から、経験年数１０年目以上のスタッフまでその方の能力に合わせて研修を行う必要がある。

3. 企画・プレゼン能力

与えられた仕事をこなすのでは無く、自分で責任を持ってプロジェクトの立ち上げ、及び進めていくことはどうしていけば良いか分からなかった。

©2020 Y's Inc.

働いてみてよかったところ

1. 多くの利用者さんに関わることができる

お一人お一人と関われる時間は少ないが、研修生を通じて全国数多くの利用者さんと関わることができた。

2. 自己研鑽の必要性

教える立場である以上、より一層自己研鑽の意識が高まった。

©2020 Y's Inc.

こんな人に向いているかも

- 教えることが好き
- 後輩の育成に時間をかけることができず悔しい思いをした
- より多くの利用者さん、スタッフに関わり貢献したい

©2020 Y's Inc.

各種プロジェクト

- 様々な企業案件がある
- 自身でプロジェクトを立ち上げて実施も可能

©2020 Y's Inc.

B-SUB４プロジェクト

脳卒中後遺症者の挑戦をサポートするプロジェクト

医師、理学療法士、マラソンコーチ、看護師、管理栄養士など多くのサポートメンバーでフルマラソン４時間切りを１年間目指した。

B-SUB4 PROJECT

confidential

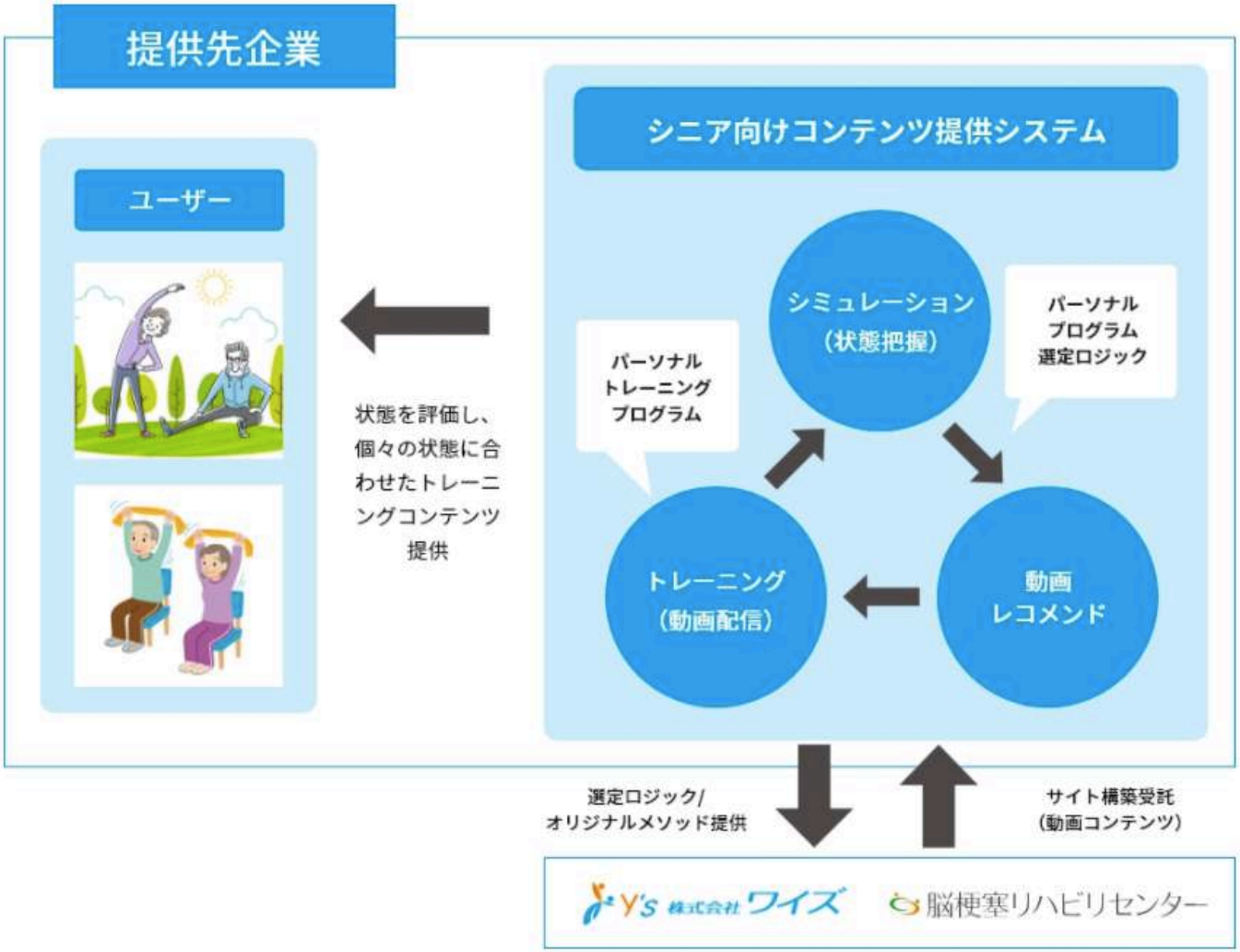
©2020 Y's Inc.

企業案件例

- デジタルコンテンツサービス
- 健康プログラム企画・運営サービス
- リハビリ研修サービス
- リハビリ機器開発サポートサービス

©2020 Y's Inc.

デジタルコンテンツサービス



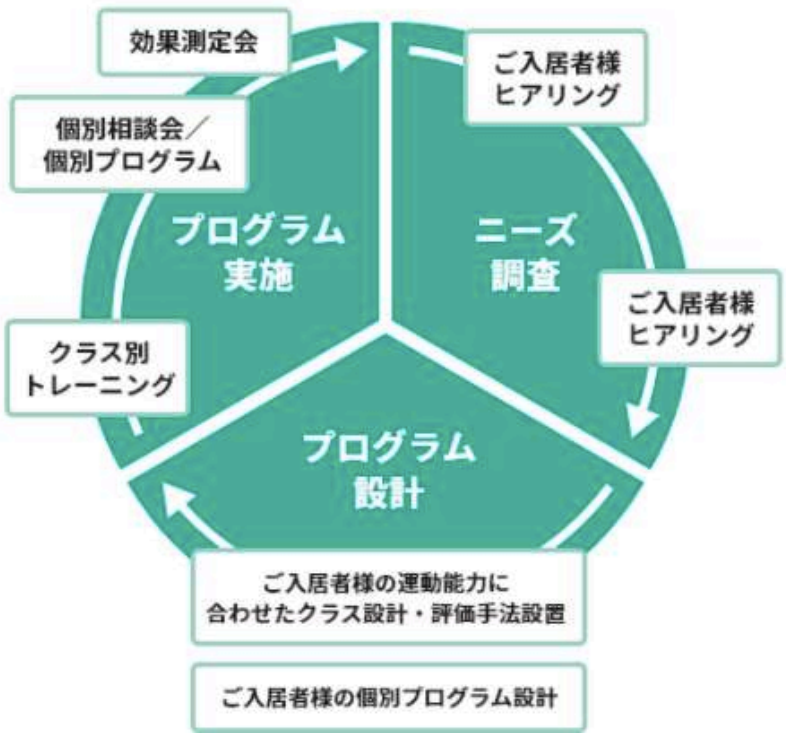
confidential

©2020 Y's Inc.

健康プログラム企画・運営サービス

サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームなどのご入居者様をはじめとした、シニア向け健康プログラムの企画・運営を行います。ハイスキルの理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・柔道整復師などのスペシャリストによるプログラム構築・運営のサポートで、延べ10万回を超える実績を基にした評価メソッド（改善状況の可視化）の考え方も織り込みます。

プログラム開発のサイクル

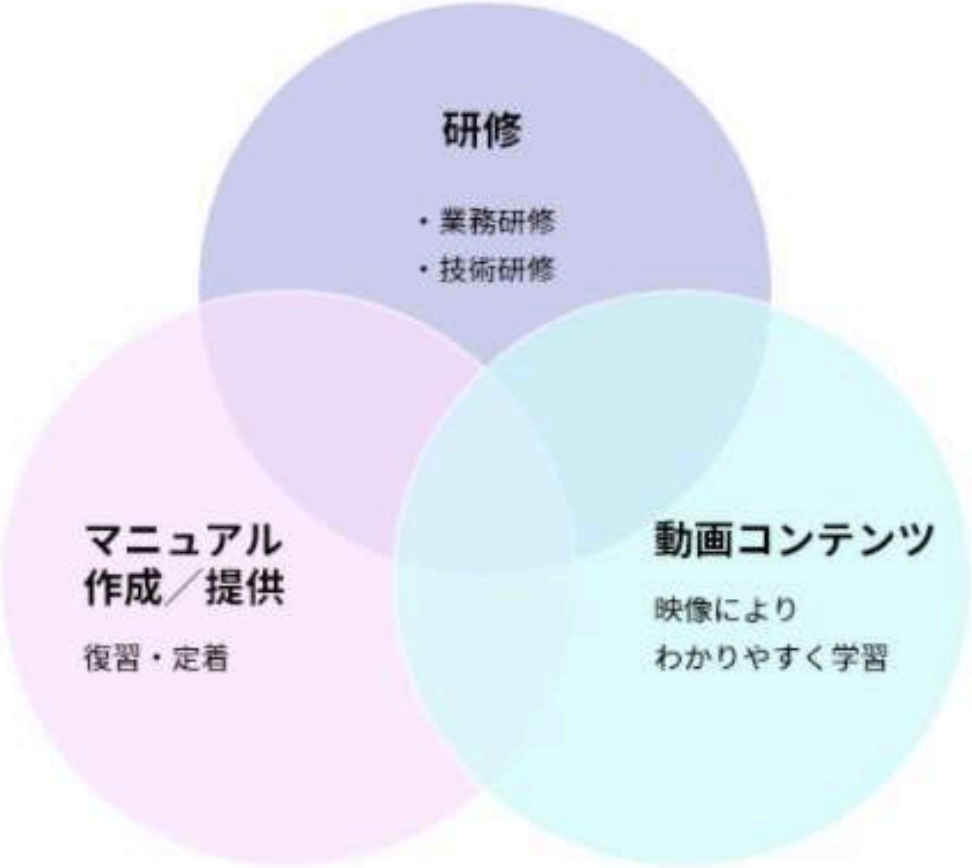


評価シートの作成（例）

©2020 Y's Inc.

リハビリ研修サービス

回復期病院及び『脳梗塞リハビリセンター』での臨床経験10年以上の講師による業務研修・技術研修を受託運営いたします。オンライン・オフラインいずれの対応も可能です。当社研修カリキュラムは医療機関からも高く評価されており、大手病院への研修実績もございます。



confidential

©2020 Y's Inc.

リハビリ機器開発サポートサービス

＜導入事例＞

PaPeRo i（NECソリューションイノベータ株式会社様）

ご支援内容：

- 言語リハビリコンテンツ提供／監修
- 臨床テストによる有用性及び効果検証
- 改善ポイントのフィードバック
- リハビリ現場での活用に向けたコンサルティング
- リハビリ専門医並びに言語聴覚士による推薦等のコメントの提供

©2020 Y's Inc.

働いてみて難しかったところ

1. 言語化の困難さ

商品、サービス設計をする上で、今までの療法士としての経験や知識を整理し言葉で説明しなければいけなかった。

2. ビジネスマナー

名刺の渡し方から会議中のマナー、ディスカッションや提案の仕方など不慣れな部分が多く、慣れるまでに時間を要した。

3. プロジェクトの設計・管理

事業の将来性・採算性はあるか、マネジメントなど手法を学ぶ必要があった。

©2020 Y's Inc.

働いてみてよかったところ

1. 新しいものを作り出すことができる

既存にない全く新しいものを作ることが出来る。

2. 他の企業や海外の方と一緒に仕事ができる

株式会社であるため、制約は少なく様々な業種や企業の方と仕事をすることができ、知見が広がる。保険内では中々行うことは難しい。

©2020 Y's Inc.

こんな人に向いているかも

- 自分の手で何か生み出したいシステムや物がある
- 国内外を飛びまわり仕事をしてみたい
- マクロな視点でより多くの利用者さん、スタッフに関わり貢献したい

©2020 Y's Inc.

4. 理学療法士に今後求められること

©2020 Y's Inc.

4. 理学療法士としてのあなたが考えること

©2020 Y's Inc.

需要と供給のバランス

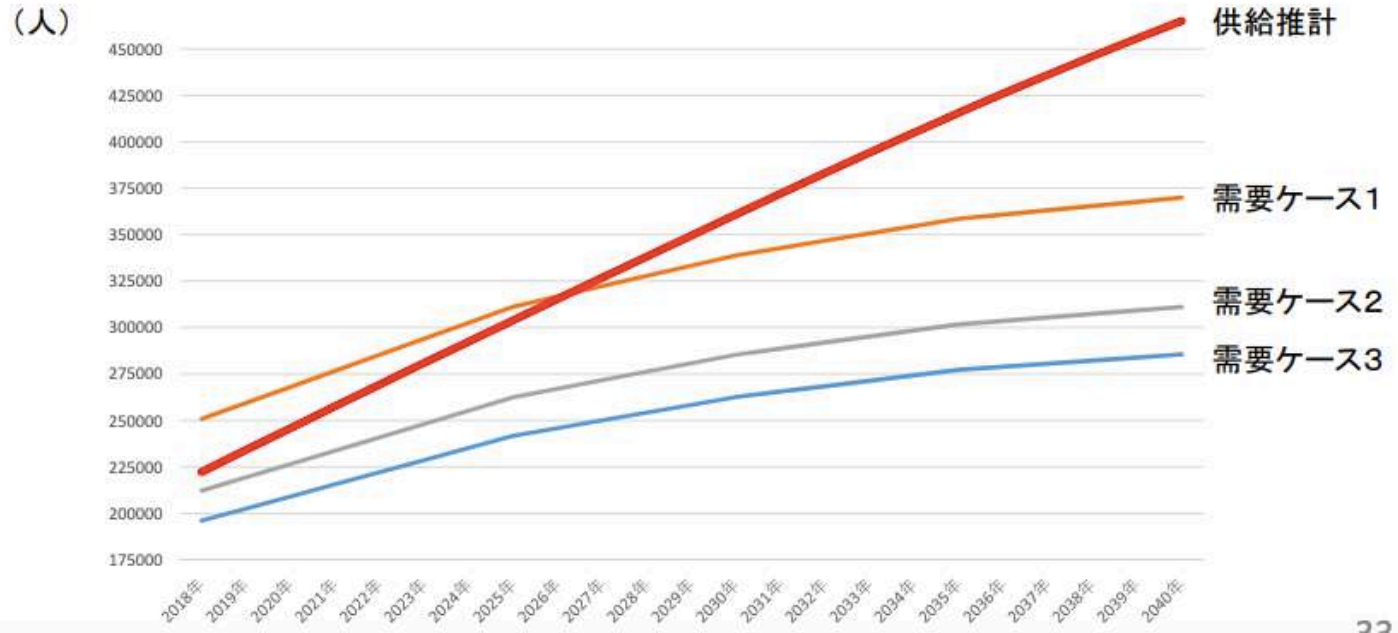
理学療法士・作業療法士の需給推計について（案）

PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍となる結果となった。

供給推計　全体の平均勤務時間と性年齢階級別の勤務時間の比（仕事率）を考慮して推計。

需要推計　ケース1、ケース2、ケース3について推計※

※　精神科入院受療率、外来リハビリ実施率、時間外労働時間について幅を持って推計



33

参照　医療従事者の需給に関する検討会第３回 理学療法士・作業療法士需給分科会

©2020 Y's Inc.

confidential

なぜ理学療法士になりましたか？

スポーツで怪我をした時に親身になってサポートしてくれたから

家族・親戚が病気になった時に良くしてくれたから

親が理学療法士をしていて憧れたから

©2020 Y's Inc.

理学療法士としてやりたい事は？

- 困っている方を何とか手助けしたい
- お金を稼ぎたい
- 出来るだけ多くの人を援助したい
- どの急性期でも充実したリハビリが行えるようにしたい
- 自分の手でどんな方でも治したい
- 小児の分野で活動したい
- 感謝されたい
- 多くの後輩療法士を育成したい

etc

©2020 Y's Inc.

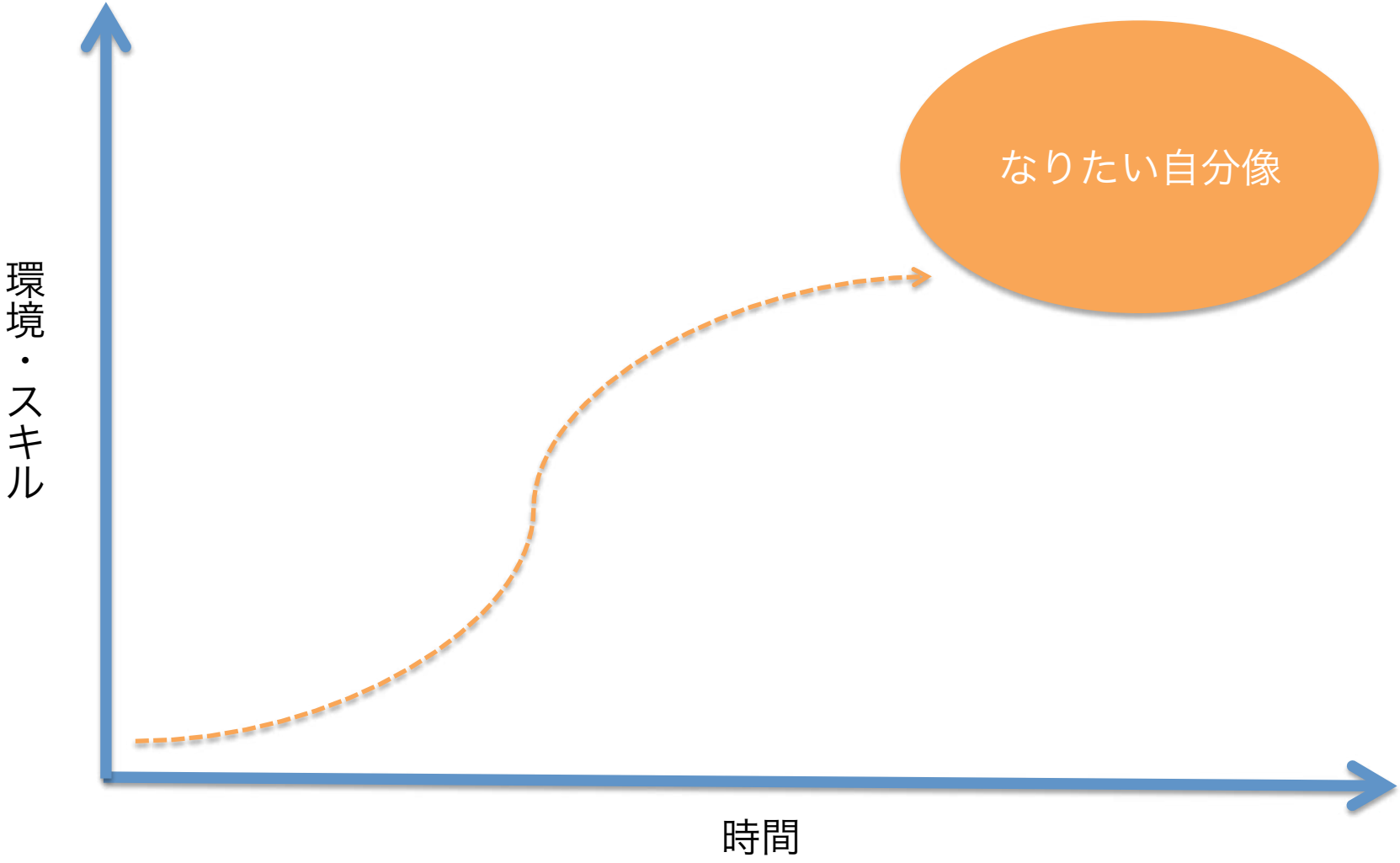
これからどんな人生を歩みたいですか？

- どんな人間になりたいか
- どんな仕事をしたいか
- どんな家庭を作りたいか
- どんな所に住みたいか
- どんな趣味があるか
- どんな夢があるか

etc

©2020 Y's Inc.

人生のロードマップ



confidential

©2020 Y's Inc.

行動の種類別生活時間

- １次活動：１０時間４１分　※睡眠、食事、身の回りの用事（洗顔、入浴、トイレ、身支度など）
- ２次活動：６時間５７分　※仕事、家事など
- ３次活動：６時間２２分　※趣味やくつろぎなど

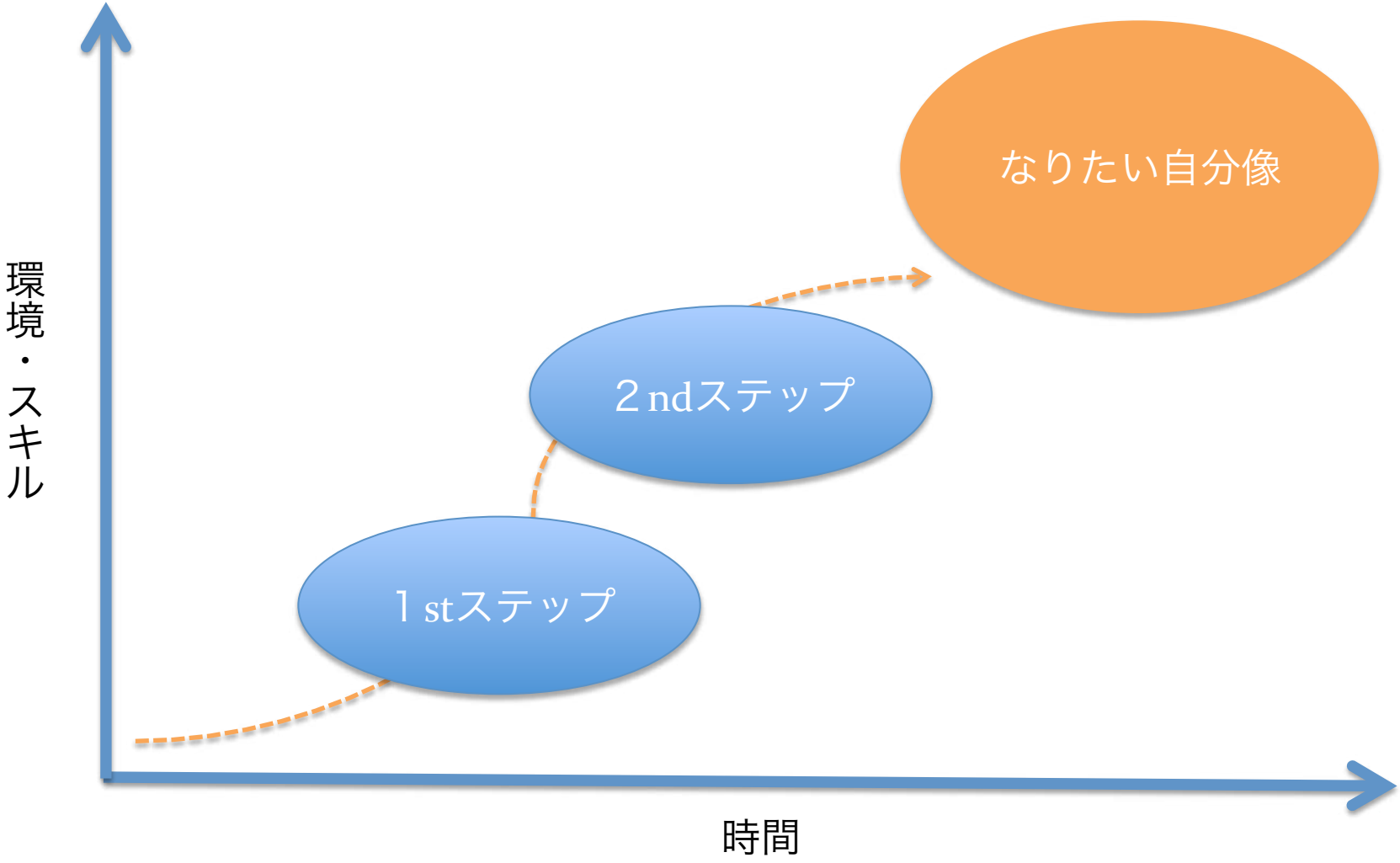
仕事とプライベートの時間は半々程度

参照　平成28年社会生活基本調査　総務省 統計局

confidential

©2020 Y's Inc.

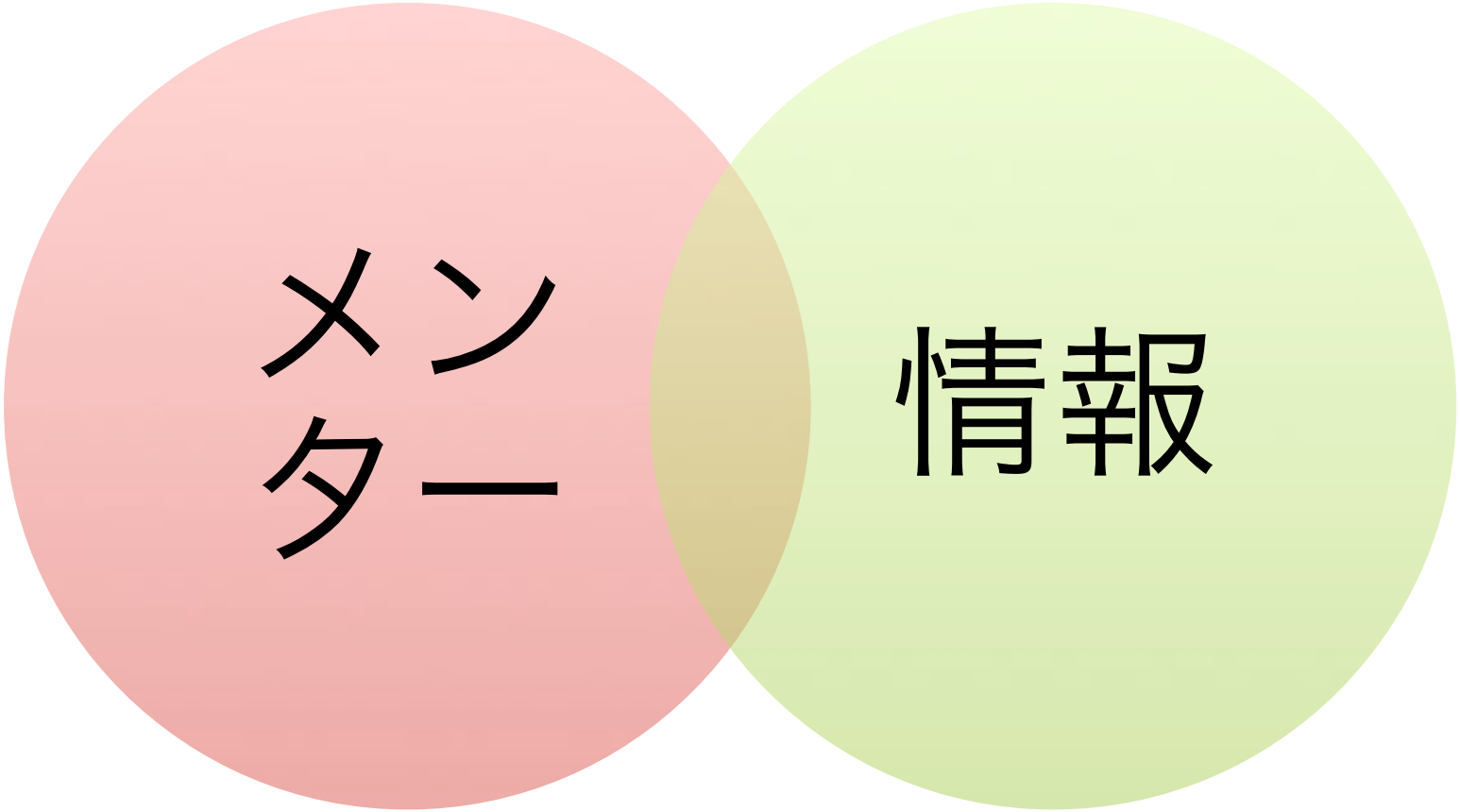
人生のロードマップ



confidential

©2020 Y's Inc.

ステップの積み重ね方



©2020 Y's Inc.

メンターの存在

- 組織の中にいるメンター

→同じ職場で精神的なサポートとなる上司のような存在

- 理想像としてのメンター

→直接話したことがないが憧れるスター的な存在

- 身近なメンター

→身近な存在で直接教えを受けたことがある恩師や師匠のような存在

メンターがステップ作成のキーとなる

©2020 Y's Inc.

情報の必要性

- なりたい自分になるにはどうすれば良いか？
- そもそもどうなりたいか分からない

働く中で気づく、見つける
趣味活動で実感する
セミナーに参加する
書籍を読む
人と出会う、話す

情報がなりたい物、やりたいことを具体化する

©2020 Y's Inc.

少なくとも保険外では

- 利用者さんのために何かサポートしたいという寄り添う気持ち
- 自己研鑽（目標のためには努力を厭わない）
- 評価ー介入ー再評価の思考プロセス
- サービス業としての意識

保険内・保険外も根本は変わらない

©2020 Y's Inc.

＋αとして

- 幅広い視野や様々な視点で物事を考える
- 企画力、行動力
- 「なぜ」を突き詰める

枠組みにとらわれず利用者さんにとって最も良いこととは何かを常に考える。

Ex.リハビリは60分が最適？

©2020 Y's Inc.

保険外リハビリ店舗運営のノウハウ

- サービス業と医療職とのバランスの取り方
- 多岐にわたるご希望への対応方法
- 生活期における予後予測と目標設定
- より良いサービスを作る為の思考、行動のフレーム
- お金、人、物のマネジメント方法

etc

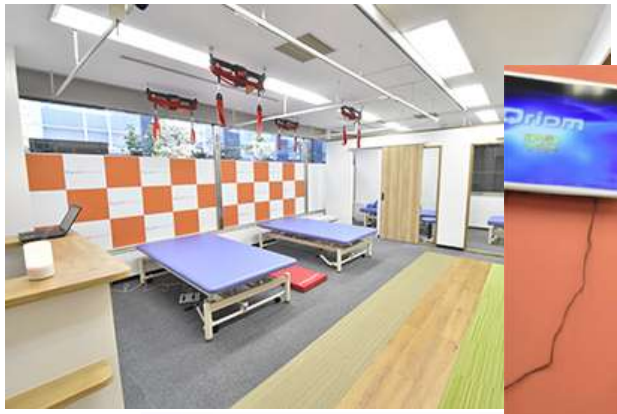
©2020 Y's Inc.

総合支援詳細ー運営に必要な業務全般の講習および体験

保険外リハビリ施設を1日運営するにあたって必要な業務の講習及び、実店舗での見学と実践を行い、実店舗運営のノウハウを学びます。

【講習内容紹介（一部）】

- 1日の流れの把握
- 接遇全般
- お出迎え
- お見送り
- クレーム対応
- 電話対応
- 予約管理
- 会計業務
- 各種プランの把握
- カウンセリング
- 備品管理感染対策
- オープン業務
- クローズ業務



confidential

©2020 Y's Inc.

総合支援詳細ーステップアップシートのご提供と運用方法の研修

利用者様の評価、説明ツールとして
弊社オリジナルのメソッドの
ステップアップシートのご提供をいたします。

リハビリ計画を利用者様視点で見える化することを目的としたシートでご好評をいただいております。

ステップアップシートの運用について

作成方法及び運用方法を実店舗での実戦の中で学んで頂きます。
作成するにあたり長期目標、短期目標の設定、それにかかる期間やリハビリ方針などを決定する能力（予後予測）が必要となってきますので、実際の利用者様をモデルにしての作成手順や方法の研修も行なってまいります。

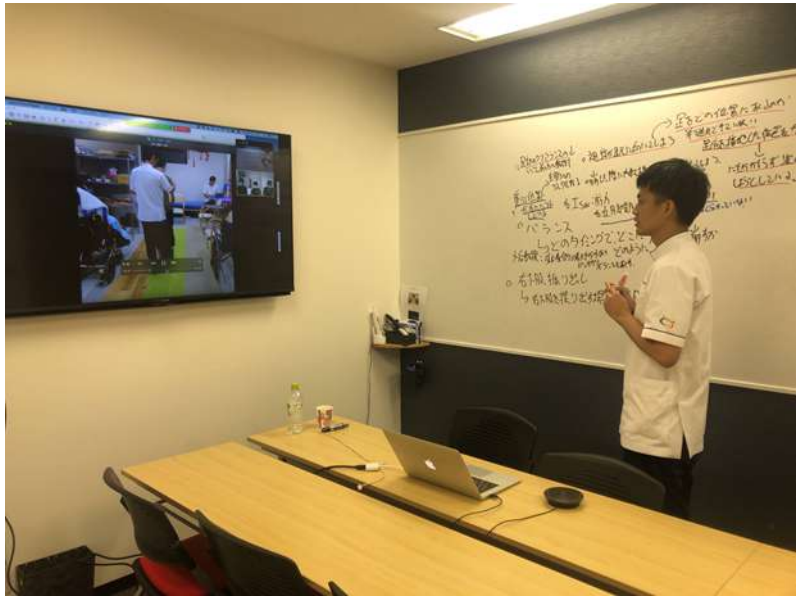
©2020 Y's Inc.

総合支援詳細ーオンライン研修

ビデオ会議システムzoomを使用し、座学を中心に〇〇や〇〇について学びます。

資料を用いた講義形式の研修に留まらず、ご利用者様の症例動画を用いた参加者とのディスカッション形式の研修を織り交ぜることで、理解が深まり、質の高い研修を提供することができます。

※写真は「動作分析と臨床での検証方法」を実施中



confidential

©2020 Y's Inc.

総合支援詳細ーオープン後研修

オープン後、3ヶ月間（隔週1-2時間）にて店舗運営業務に関してのブラッシュアップや新規対応の方法などのフォローアップを行い円滑な店舗運営をサポートいたします。

【研修内容例】

- お出迎え、お見送り
- 初回お問い合わせ対応
- 見学対応
- 新規対応
- 追客
- 事例検討
- 店舗内立ち回り
- 導線、備品チェック
- その他質疑応答

©2020 Y's Inc.

個別支援詳細ー質を高める業務研修

総合支援では運営する為に最低限必要な内容となっております。個別でご不安のある項目やより質を高めたい項目に関して研修を行うことが可能です。

業務研修	概要
コンプライアンス（社会人のマナー、モラル、義務と権利、ハラスメント）	法令遵守、社内規定を守る意味、必要性を知り、その為に社会人として気をつけるべきこと、発生する義務と権利、ハラスメント、自分と病院を高めていくための道筋について学ぶ
報連相の重要性	報連相は何の為に必要か、どんな使い分けをする必要があるか、どのようなツールを使うべきかを学び、組織運営の基礎を学ぶ
組織図とレポートライン	組織図は何の為にあるのか、その必要性および活用方法について学ぶ
課題解決手法（ロジカルシンキングとPDCAサイクル）	働く上で、業務全般や専門職としての悩み、人間関係など様々な課題がある。これらに直面した際の課題解決手法について学ぶ
キャリアアップデザイン	キャリアアップとは、個人におけるもの病院におけるものの違いについて知り、具体的なデザイン方法について学ぶ
お金の話（病院の経営、給与）	病院の経営がどの様な仕組みで成り立っているか、自身の給料はどの様にうまれているか、お金の流れや常識について学ぶ
コミュニケーション（傾聴、共有、提案）	提案は行う事前準備が重要。傾聴の重要性を知り、ホープの聴取からニーズへ落とし込む方法、患者との共有の方法などの実践的なコミュニケーションテクニックを学ぶ。
保険制度（現在の医療、介護の制度、患者数の推移）	現在、過去の医療・介護保険制度と未来の予測を学び、今後の社会的な流れを知る
多職種連携を促進するカンファレンスの進め方	カンファレンスが円滑に、また有意義なディスカッションとなる為の事前準備から進行など実践的なテクニックを学ぶ PDCAサイクルに則った課題への取り組み方、カンファレンスに頼らないシームレスな共有方法について学ぶ、異なる意見のまとめ方、レイヤーの違い、共通の目的、病院の理念などを包括したマネジメント方法について学ぶ
人材育成（部下の目標設定、キャリアアップ）	人材育成で重要な事、OJTは何故上手くいかないのか、仕事の与え方など、育成側の必要なスキルや手法について学ぶ
保険外リハビリサービスにおける物・金のマネジメント	管理職で重要な、物・金のマネジメントについての基礎知識と、マネジメント行う上での外せないポイント、優先度や重要度などについて学ぶ
保険外リハビリサービスにおける人のマネジメント	管理職で重要な、人のマネジメントについての基礎知識と、マネジメント行う上での外せないポイント、優先度や重要度などについて学ぶ
チーム作りについて	チームとは何か、何のためのチームなのかを整理する方法、自分にあったチームの作り方、メンバーが能動的に動く仕組みづくりについて学び、チーム作りの実践的なノウハウについて学ぶ

confidential

©2020 Y's Inc.

個別支援詳細ー質を高める技術研修

総合支援では運営する為に最低限必要な内容となっております。個別でご不安のある項目やより質を高めたい項目に関して研修を行うことが可能です。

技術研修	概要
介助、観察に必要な解剖学・運動学の知識	リハスタッフが初めに覚えるべき動作の介助方法と動作の観察に必要な解剖学、運動学について学ぶ
介助、観察に必要な触診、関節可動域練習の実技	不快感なく患者に触る方法と介助や動作観察に役立つ関節の動かし方について学ぶ
ケア～リハビリに入るための介助方法	安全に行う方法、患者の機能を最大限に活かす方法両者を学び、リハビリに入る為の基本的な身体の使い方について学ぶ
アプローチの立案に役立つ動作観察法	面・軸の理解、空間的、相対的アライメントの区別を踏まえ、アプローチに役立つ観察方法について学ぶ
動作分析のための脳機能の知識	動作時の各皮質、および連合野の役割、左右半球間の違いや、小脳・基底核のネットワークループについて学び、分析を行う土台を作る
動作分析と臨床での検証方法	起こっている現象に対して主要な6つの要素から多角的に分析を行う方法、および、臨床での検証方法について学ぶ
運動学習のための動作分析	介入が必要な要素についてのアプローチの設定方法、難易度の設定や優先順位について、また患者の運動学習を考慮したプランニングについて学ぶ
予後予測のための分析と介入方法	EBMとNBMを組み合わせた予後予測の立て方、1回1回のリハビリ目的を明確にし、1ヶ月後の目標設定を行える手法を学ぶ
目標設定と共有方法	モチベーションを保つための長期目標と短期目標の立て方、主体的に取り組む仕組み、目標通り進んでいない時の対応策など、患者と共にリハビリテーションを進めていく方法を学ぶ

confidential

©2020 Y's Inc.

保険外リハビリ施設サポート研修

【 総合支援 】

・運営に必要な業務全般の“習得”
・脳梗塞リハビリセンターでの体験研修
・ステップアップシートの提供と運用方法に関する“実地”研修

研修期間：44日間

新潟　大手法人様

【 総合支援（短縮版）】

・運営に必要な業務全般の説明
・脳梗塞リハビリセンターでの体験研修
・ステップアップシートの提供と運用方法に関する体験研修

研修期間：22日間

熊本　居宅サービス事業者様

福岡　居宅サービス事業者様

東京　医療法人様

etc

※1講座あたり

研修期間：2日間

岡山　大手医療法人様

【 個別支援（オプション）】

・業務一つ一つの質を高める研修
・必要なものを組み合わせてオーダーメイド可能

confidential

©2020 Y's Inc.

ご静聴いただき有難うございました

研修についてのお問い合わせはこちらから
０３－５５４２－０７８５

confidential

©2020 Y's Inc.